

THE-7014FCEPTN THE-7014FCECJN

取扱説明書

マニュアルはよく読み、保管してください。

- ・操作を行う前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- ・このマニュアルはいつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

All Rights Reserved, Copyright © 株式会社 日立製作所 2019, 2021

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複製することは固くお断りします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本マニュアルに準じないで本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

規制・対策などについて

□電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

□高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合について

JIS C 61000-3-2 準用品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 を準用しています。

□免責事項

- ・装置に納められたデータに対する損害又は損失については賠償責任の範囲から除外されます。
- ・装置又は装置の使用により付随的に発生したいかなる損害(逸失利益、その他の間接損害を含む)についても賠償責任の範囲から除外されます。
- ・第三者からの、又は第三者のためになすお客様からのいかなる請求についても賠償責任の範囲から除外されます。

□輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

□装置の廃棄について

装置の廃棄について事業者が廃棄する場合、廃棄物管理表(マニフェスト)の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。廃棄物管理表は(社)全国産業廃棄物連合会に用意されています。個人が廃棄する場合、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則にしたがってください

■発行

2021年8月 (第4版)

〒259-1392

神奈川県秦野市堀山下1番地

株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部

電話 (0463)88-1311(大代表)

■著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2019, 2021, Hitachi, Ltd.

はじめに

このマニュアルは、ネットワーク経由で THE-7014FCEPTN および THE-7014FCEGJN のコンセントを制御するために使用します。THE-7014FCEPTN/THE-7014FCEGJN を安全にお取り扱いいただくために、操作の前に必ずよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、いつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

本書について

本取扱説明書の他に THE-7014FCEPTN/THE-7014FCEGJN の操作に関して必要な説明書はありません。

安全にお取り扱いいただくために

安全にお取り扱いいただくために

安全に関する注意事項は、「危険」、「警告」、「注意」及び「通知」という見出しによって表示されます。



これは安全警告記号です。人への危害をひき起こす隠れた危険に注意を喚起するために用いられます。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルの後に続く安全に関するメッセージに従ってください。



危険:これは、死亡または重大な傷害をひき起こす危険の存在を示すのに用いられます。



警告:これは、死亡または重大な傷害をひき起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。



注意:これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害をひき起こすおそれのある危険の存在を示すのに用いられます。

通知:これは、人身傷害とは関係のない損害をひき起こすおそれのある場合に用いられます。

■安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
- 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- 本製品に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアルも参照し、記載されている注意事項を必ず守ってください。
これを怠ると、人身上の傷害やシステムを含む財産の損害を引き起こすおそれがあります。

■操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

本製品について何か問題がある場合は、EP8000 の電源を切り、ブレーカを切断したあと、保守員またはお買い求め先にご連絡ください。

■自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。

安全にお取り扱いいただくために (続き)

一般的な安全上の注意事項 (危険の注記)

危険 (D001) 保安用接地 (アース) が異なる 2 つの表面に触れることから起こる感電事故を防ぐため、信号ケーブルの接続または切り離しは、できるだけ片手で行ってください。

危険 (D002) 分岐回路に過負荷がかかると発火や感電の危険性が生じます。
このような危険を避けるためシステムが必要とする電源容量が電源回路の安全容量を超えないことを確認して下さい。
使用する装置の付属資料、または定格電源ラベルに記載されている電気仕様を参照してください。

危険 (D003) 電源コンセントの枠組みが金属製の場合には、電圧および接地の点検を完了するまで金属部分には触れないでください。
誤配線やアース不良があると、金属部分に危険な電圧が生じることがあります。
点検の結果が記述内容と異なる場合には作業を中止してください。
電圧やインピーダンスの条件が不適切な場合は、作業を進める前に訂正してください。

危険 (D004) 正しく配線されていない電源コンセントにより、システムまたはシステムに接続している装置の金属部品に、危険な電圧が生じることがあります。
感電を防止するため、電源コンセントの配線と接地については、お客様の責任で正しい配線を確認してください。

危険 (D005) システムあるいはシステムの周囲で作業する場合は、以下の安全上の順守をして下さい。
電源ケーブルや電話線、通信ケーブルに流れている電圧および電流は危険です。
感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- ・弊社から電源ケーブルが供給されている場合は、その電源ケーブルのみを使用して当装置を電源に接続します。
- ・弊社から供給された電源ケーブルは、他の製品には使用しないでください。
- ・電源ユニットは、開けたり保守したりしないでください。
- ・雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- ・製品が複数の電源ケーブルを装備している場合があります。
危険な電圧をすべて除去するには、すべての電源ケーブルを切り離してください。
- ・すべての電源ケーブルは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
システムの定格プレートに従い、コンセントが正しい電圧と相回転を提供していることを確認してください。
- ・この製品に接続する機器があれば正しく配線されたコンセントに接続してください。
- ・信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- ・火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- ・可能性があるすべての危険な状態が修正されるまでは、マシンの電源をオンにしないでください。

安全にお取り扱いいただくために (続き)

- 危険 (D005) の続き
- ・電気的な危険が存在することを想定してください。
 - サブシステムのインストール手順の実行時に指定したすべての継続性、設置、および電源チェックを実行し、マシンが安全要件を満たしていることを確認して下さい。
 - ・取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源ケーブル、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
 - ・ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の手順の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源を切ります (別の指示がない場合)。
2. 電源ケーブルをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源を切ります (別の指示がない場合)。
2. すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源ケーブルをコンセントに接続します。
5. 装置の電源を入れます。

- ・システムの内部および周辺に鋭利な先端、角、およびジョイントが存在する可能性があります。

装置を取り扱う場合は、手や指に怪我をしないよう注意してください。

- 危険 (D008)
- 装置の輸送や移動、移設作業についてはすべて、保守員または、お買い求め先に依頼してください。
- システムを誤って取り扱ったり移動したりすると、重大な障害または死に至る場合があります。

- 危険 (D009)
- 本マニュアルに記載のない限り、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因となります。特に電源ユニット内部は高電圧部が数多くあり、万一触ると危険です。

安全にお取り扱いいただくために (続き)

一般的な安全上の注意事項 (注意の注記)

- 注意 (C001) 電氣的な危険があります。
短絡があると、システムの停止および怪我をすることがあります。
保守作業を行う前に、身に付けている貴金属製品をすべて取外してください。
- 注意 (C013) 保守員が保守作業するとき以外は、製品の扉とカバーは、常時閉じておいてください。
感電ややけど、または装置の故障の原因となります。
保守作業が完了したら、すべてのカバーを再取り付けして、扉を閉じる必要が有ります。
- 注意 (C014) このシステムには、鉛はんだを含む回路カードまたはアセンブリー(あるいはその両方)が使用されています。
鉛(Pb)を環境に排出しないため、焼却はしないでください。
回路カードの廃棄には、各地域の規制に従ってください。
- 注意 (C018) 当製品の電源ケーブルとプラグは、3 線式(2 本の導線と 1 本のアース線)です。
感電事故を防止するには、正しく接地された電源コンセントに、この電源ケーブルを接続してください。
- 注意 (C032) 当製品の保守は、トレーニングを受けた保守担当者だけが実施してください。
装置のカバーの取り外しや部品の取り付け・取り外しは行わないでください。不慣れな作業を行うことにより、怪我または装置の故障の原因となります。
- 注意 (C038) 装置は無人で稼働させることはできません。常に、サービス担当員がプロセスを監視している必要があります。
- 注意 (C041) ユーザマニュアルや、取扱説明書を参照してください。
- 注意 (C049) この装置で使用されているバッテリーにはリチウムが含まれており、取り扱いを誤ると、火災や化学火傷のリスクが生じる可能性があります。分解、摂氏 100 度を超える過熱、燃焼、焼却、または破砕を行わないでください。廃棄またはリサイクルは、各地域の規制に従って、迅速かつ適切に行ってください。
- 注意 (C052) この装置は、子どもがいる可能性の高い場所での使用には適していません。
- 注意 (C053) PDU から入力 AC ケーブルを外す前に、AC 入力(ブレーカ)をオフしてください。

安全にお取り扱いいただくために (続き)

- 注意
(HT001) 電源コードの取り扱い:
電源コードは付属のものおよびサポートオプションを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出、ショートや一部断線で過熱して、感電や火災の原因となります。
- ・ 物を載せない
 - ・ 引っ張らない
 - ・ 押し付けない
 - ・ 折り曲げない
 - ・ ねじらない
 - ・ 加工しない
 - ・ 熱器具のそばで使用しない
 - ・ 加熱しない
 - ・ 束ねない
 - ・ ステップルなどで固定しない
 - ・ コードに傷がついた状態で使用しない
 - ・ 紫外線や強い可視光線を連続して当てない
 - ・ アルカリ、酸、油脂、湿気へ接触させない
 - ・ 機器温度条件以外で使用しない
 - ・ 定格以上で使用しない
 - ・ ほかの装置で使用しない
 - ・ 電源プラグを持たずにコンセントの抜き差しをしない
 - ・ 電源プラグを濡れた手で触らない
- なお、電源プラグはすぐに抜けるよう、コンセントの周りには物を置かないでください。
- 注意
(HT002) タコ足配線:
同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因となるとともに、電力使用量オーバーでブレーカが切断し、ほかの機器にも影響を及ぼします。
- 注意
(HT003) 電源プラグの接触不良やトラッキング:
電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因となります。
- ・ 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
 - ・ 電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。
 - ・ グラグラしないコンセントを使用してください。
 - ・ コンセントの工事は、専門知識を持った技術者が行ってください。
- 注意
(HT005) 雷雨時の注意:
雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または装置の設置、保守、再構成を行わないでください。感電の原因となります。

安全にお取り扱いいただくために (続き)

- 注意 梱包用ポリ袋:
(HT006) 装置の梱包用エアークャップなどのポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。
- 注意 周辺機器の接続:
(HT007) マニュアルの説明にしたがい、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器・ケーブル・電源コードを使用してください。それ以外のものを使用すると、接続仕様の違いにより周辺機器や装置の故障、発煙、発火や火災の原因となります。
- 注意 安定した場所で使用:
(HT008) 安定した場所に置いてください。傾いたところや狭い場所など不安定な場所に置くと落ちたり倒れたりして、けがや装置の故障の原因となります。
- 注意 目的以外の使用:
(HT009) 踏み台やブックエンドなど、サーバとしての用途以外に装置を利用しないでください。壊れたり倒れたりし、けがや故障の原因となります。
- 注意 信号ケーブル:
(HT010) ・ ケーブルは足などをひっかけたり、ひっばったりしないように配線してください。ひっかけたり、ひっばったりするとけがや接続機器の故障の原因となります。また、データ消失のおそれがあります。
・ ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因となります。
- 注意 金属など端面への接触:
(HT012) 装置の金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。綿手袋がない場合は十分注意して触れてください。
- 注意 装置上に物を置く:
(HT013) 装置の上には周辺機器や物を置かないでください。周辺機器や物がすべり落ちてけがの原因となります。また、置いた物の荷重によっては装置の故障の原因となります。

⚠️ 安全にお取り扱いいただくために (続き)

一般的な安全上の注意事項 (Labels)

- 危険 (L001) このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。
このラベルが貼られている場合は、カバーや仕切りを開けないでください。



- 注意 (L006) PDU から入力 AC ケーブルを外す前に、AC 入力 (ブレーカ) をオフにするかコンセントから電源プラグを抜いてください。
危険な電圧、強い電流が流れています。



L001




L006



安全にお取り扱いいただくために (続き)

装置の損傷を防ぐための注意

- 通知 装置使用環境の確認:
(HN005) 装置の使用環境は各製品の環境条件を満足してください。たとえば、温度条件を超える高温状態で使用すると、内部の温度が上昇し装置の故障の原因となります。
- 通知 使用する電源:
(HN006) 各装置に表示された電圧で使用してください。表示された以外の電圧で使用すると電圧の大きさにしたがって内部が破損したり、過熱・劣化したり装置の故障の原因となります。
- 通知 温度差のある場所への移動:
(HN007) 移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると装置の故障の原因となります。すぐに電源を入れたりせず、使用する場所で数時間そのまま放置し、室温と装置内温度がほぼ同じに安定してから使用してください。たとえば、5℃の環境から25℃の環境に持ち込む場合、2時間ほど放置してください。
- 通知 通気孔:
(HN008) 通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、発煙や故障の原因となります。また、通気孔は常にほこりが付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。
- 通知 装置内部への異物の混入:
(HN009) 装置内部への異物の混入を防ぐため、次のことに注意してください。異物によるショートや異物のたい積による内部温度上昇が生じ、装置の故障の原因となります。
- ・ 通気孔などから異物を中に入れない
 - ・ 花ビン、植木鉢などの水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属類を装置の上や周辺に置かない
 - ・ 装置のカバーを外した状態で使用しない
- 通知 強い磁気の発生体:
(HN010) 磁石やスピーカなどの強い磁気を発生するものを近づけないでください。装置の故障の原因となります。
- 通知 落下などによる衝撃:
(HN011) 落下またはぶつけるなど、過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、装置の故障の原因となります。
- 通知 接続端子への接触:
(HN012) コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしてショートさせないでください。発煙または接触不良の故障の原因となります。

 **安全にお取り扱いいただくために (続き)**

- 通知 煙霧状の液体：
(HN013) 煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前にビニールシートなどで装置を完全に包んでください。装置内部に入り込むと故障の原因となります。また、このとき装置の電源は切ってください。
- 通知 サポート製品の使用：
(HN014) 流通商品のハードウェア・ソフトウェアを使用された場合、装置が正常に動作しなくなったり故障したりすることがあります。この場合の修理対応は有償となります。装置の安定稼働のためにも、サポートしている製品を使用してください。
- 通知 装置の設置の向き：
(HN017) 装置は正しく設置した状態で使用してください。

非常時の処置

感電事故発生の場合

- あわてないこと。感電した人に触れて第2の被害者にならないようにしてください。
 - まず被害者への電流源を遮断してください。分電盤のブレーカを切断してください。これができない場合は、乾いた木の棒など非導電性のものを使って、被害者を電流源から引き離してください。
 - 救急車を呼んでください。
 - 被害者が意識不明の場合は、人工呼吸をしてください。
- このような場合に備えて、人工呼吸のやり方を前もって練習しておいてください。
被害者の心臓が停止している場合は、心臓マッサージを行う必要がありますが、この処置は訓練を受け、資格のある人以外には行ってはいけません。

火災発生の場合

- まず装置への電源を遮断してください。分電盤のブレーカを切断してください。
- 電源を遮断しても火災が収まらない場合は、状況に応じ、消火作業や消防署への電話等をしてください。

目次

安全にお取り扱いいただくために.....	4
1. 各部の名称と働き	16
2. ケーブルの接続.....	16
(1) 入力電源.....	16
(2) 出力電源.....	16
(3) ネットワーク	17
(4) シリアルポート (SETTING PORT)	18
3. メニュー説明	18
3.1 ネットワークログイン時のメニュー説明.....	18
Main Menu.....	18
(1) System Configuration.....	18
(1)-1 Network Information (ネットワーク設定手順)	18
(1)-2 Set Outlet Status (コンセントのON手順)	18
3.2 シリアルログイン時のメニュー説明.....	18
Main Menu.....	18
(1) Setup Network Parameter (ネットワーク設定手順)	18
4. 系切替機構IPDU制御機能設定マニュアル	18
4.1 はじめに.....	18
(1) 用語.....	18
(2) 使用上の注意.....	18
(3) 機能概要.....	18
(4) 前提環境および対象機種	18
(5) 関連マニュアル	18
4.2 iPDU制御機能導入手順.....	18
4.2.1 HRLを2重化していない構成の場合の導入手順.....	18
(1) HRLへのiPDUのIPアドレス登録.....	18
(2) iPDUのIPアドレスとサーバの対応関係の登録.....	18
(3) iPDUの動作確認.....	18
(4) (1)~(3)の実行例	18
(5) iPDUのIPアドレスとサーバの対応関係の退避/回復	18

4.2.2 HRLを2重化した構成の場合の導入手順.....	18
(1) HRLへのiPDUのIPアドレス登録.....	18
(2) iPDUのIPアドレスとサーバの対応関係の登録.....	18
(3) 設定をHRL#1からHRL#2にコピー	18
(4) 設定をHRL#2からHRL#1にコピー	18
(5) iPDUの動作確認.....	18
4.3 hsetup_ipdu -M(-t) 実行時のerrpt.....	18
4.4 制限シェル使用方法	18
4.5 iPDU制御機能再設定手順	18
4.5.1 ハードウェアマネージメントコンソール (HMC) を交換した場合	18
4.5.2 iPDUを交換した場合	18
5. 定期点検について	18
6. 技術資料	18
7. 付録1 「HSETUP_IPDU -V」 コマンド	19
8. 付録2 「HSETUP_IPDU -A」 コマンド	19
9. 付録3 「HSETUP_IPDU -R」 コマンド	19
10. 付録4 アテンションLEDクリア方法.....	19
11. 設定控え欄.....	19

商標類

- IBM、AIX、DataStage、HACMP、POWER、POWER7、POWER8、POWER9、PowerHA、SystemMirror は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標です。
- UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。
- Microsoft および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- HITACHI, JP1 は、(株)日立製作所の登録商標です。
- Magick Packet は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
- その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

1. 各部の名称と働き

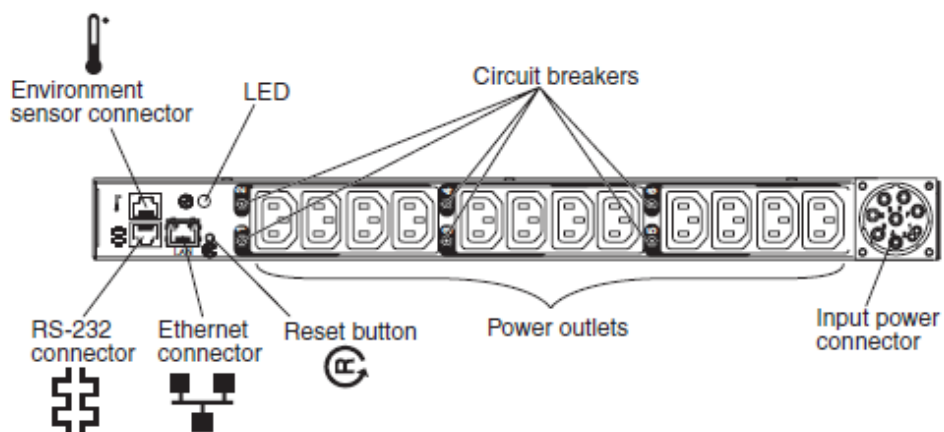


表 5.1 各部の名称・機能

名称	機能
Environment sensor connector	環境温度センサーを取り付けるポート（非サポート）
RS-232 connector	設定用 PC 接続用
Ethernet connector	ネットワークケーブル接続用
LED	AC Input 時点灯
Reset button	CPU リセット
Circuit breakers	過電流保護 6 個（各 20A）
Power outlets	2P 接地型コンセント 10A IEC 60320 C13
Input power connector	#6654 14-Ft 1PH/24A Power Cord 接続用

No		項目	仕様
1	入力	電圧	200～240VAC 単相、50/60Hz
2		電流	24A
3		コンセント形状	NEMA L6-30P
4		AC 電源コード長	約 4.3m
		設備側の過電流保護	30A
5	出力	電圧	200～240V
6		電流	最大 10A/コンセント
7		コンセント形状	IEC320 規格 C13
8		コンセント口数	12 口
9		ブレーカ	20A (1 個/2 コンセント, 合計 6 個)
10	外形寸法		44(H) x 447(W) x 350(D)
11	重量 : 本体		6.3kg
12	: 電源コード		5.4kg
13	動作温度		10～40℃
14	動作湿度		8～80% (結露しないこと)

以降の内容については、製品添付される紙面に記載される URL または問い合わせ先に連絡願います。

-
- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
 - 無断転載を禁じます。